

◎ 知ってみたい 山梨

ふるさと倶楽部の会員は、ほとんど他県からの移住者です。このコーナーでは「へえー！」「そうなんだ！」とおもうような特色ある山梨の自然や文化などを紹介していきます。

★「八ヶ岳と富士山」(日本の神話より)



『富士山の女神さまと八ヶ岳の男神さまが背比べをして、勝ったはずの八ヶ岳が怒った富士山に頭を八つにたたき割られたので低くなってしま

ったとさ。』というよく聞く民話がある。

今回、八ヶ岳に磐長姫(イワナガヒメ)富士山に木花咲耶姫(コノハナサクヤヒメ)という姉妹の女神がおられたと言う神話に出会ったので簡略形でお伝えしてみる。

『昔、天照大臣の孫であるニニギが、機をおるその姿が開きかけた花のようにおやかな木花咲耶姫に心を奪われ、父の大山祇神(オオヤマツミノカミ)に姫を妻にと申し入れた。大山祇神はたいそう喜び、百の台に様々な品を盛り上げ木花咲耶姫に持たせ、姉の磐長姫を添えてさしあげたと。ところがその磐長姫は、まるで岩のようにごつごつと



醜い姫君だったからニニギは恐れをなして、すぐ父の所へ送り返してしまった。大山祇神は磐長姫が返されてきたのを見ると、たいそう恥ずかしくも情けなく思い、「わしが娘二人をさしあげたのは、他でもない、木花咲耶姫をめとれば花のように美しく栄えることができ、また、磐長姫をめとれば雪にも耐え風にも動かされることのないとしえの命をもつことができるからじゃ。しかしこうして磐長姫を返したからには日の御子の命も花の散るごとく短いものになりましようぞ。」と言った。この時から日の御子の命は長くはない。』というわけである。



以上、主に松谷みよ子著の文から引用したが色々な解説にも触れた。「人は美しさを手に入れた代わりに不老不死を失った。」とか、さらに「みにくい」を「見えにくい」に転じさせて、「これまでは日本人の意識が物質的な豊かさ(富士山)に集まりがちだったが、これからは見えない世界、霊的な生き方を主軸にした生活(八ヶ岳)に意識が移っていく人が増えていく時なのかもしれない。」など様々であった。さて私は？皆様は？どうお感じになるのでしょうか。(.....)

◎ イベント報告

☆2/1キムチの素作り (高根町)

キムチの素づくりに参加しました。須玉総合支所の調理室で、4.5人のグループに分かれて作業しました。

材料は6種類の野菜の他に10種類近い調味料。女性軍は慣れた手付きで野菜を刻み、男性軍は大鍋を火にかけて煮る作業、刻んだ大根を思い切り絞ることなどそれぞれできることを楽しみながら調理しました。共同で作ればこそその美味しいキムチの素が完成。大変な準備をしてくださった委員の方々に感謝しつつ当日の夜はとっても美味しいキムチ鍋で温まりました。



☆2/3梅の剪定 (高根町)

井手夫婦は初参加の年から10年、南東の角のウメひとつすじ。歳を追うごとに、白い苔に覆われ、ポッキリ折れる枝が増え、人間なら90歳のたたずまい。それでも毎年、採りきれない数の梅が鈴なりに成る。

快晴の下、木に余計な負担がかからぬよう、光が行き渡るように、ギコギコチョッキン。皆さんと締め挨拶後もまたギコギコチョッキン。始めて2時間半、木を一周愛でて終了。

家に帰ると、庭のカキが気になる。車を降りて枝を見る。ちょっとアソコだけ、、とまた2時間、樹上の人となった。

